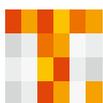
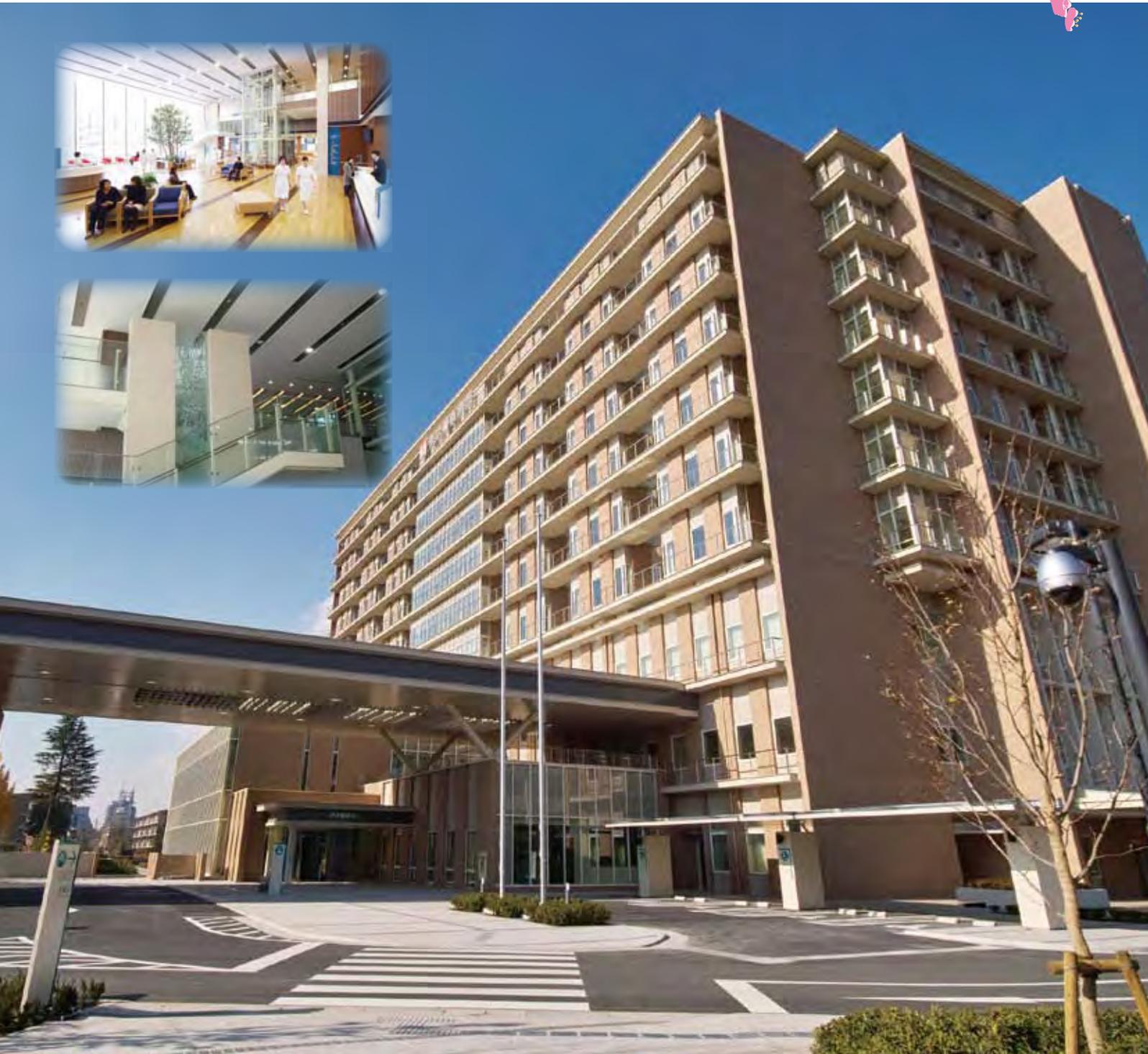


T.M.P.H. ニュース

創刊号

2010.1 Vol.1

Tokyo Metropolitan Police Hospital



東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful (ソートフル) 患者様の立場に立った医療をめざしていきます

Technical (テクニカル) 医療レベルの向上に努めていきます

Trustworthy (トラストウォーシー) 皆様の信頼に応えていきます

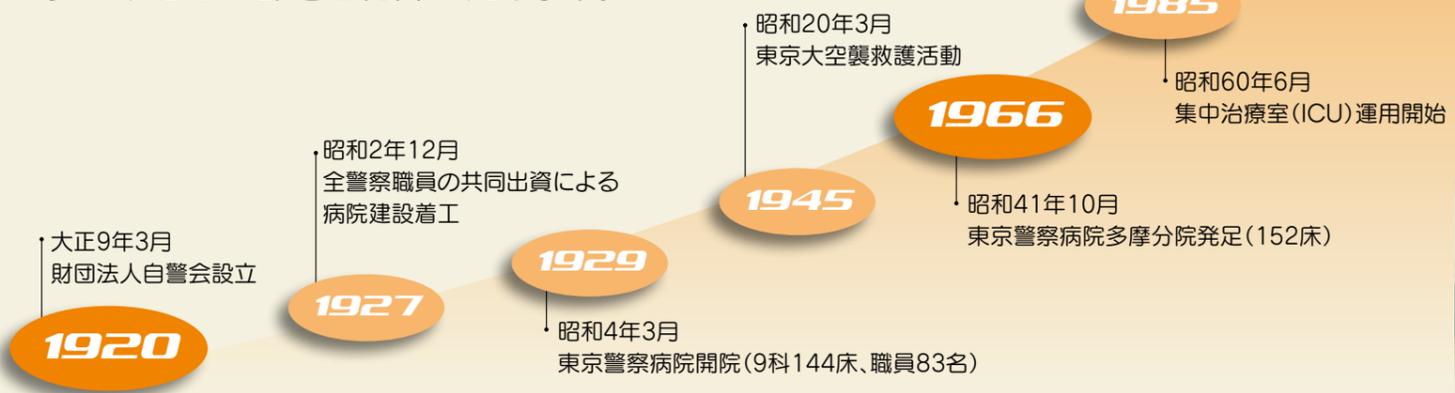
ご挨拶

このたび、東京警察病院においても広報誌を発刊する運びとなりました。今後、この広報誌が、患者さまならびに地域の皆さまに、当院についてご理解を深めていただく縁となり、地域医療の発展に貢献できることを望んでおります。患者さまならびに地域の皆さまの厚いご信頼を頂けるよう、全職員一丸となって一生懸命努力する所存でございます。皆さまには、この広報誌を一緒に育てて頂きたい、今後ともご支援下さいますようお願い申し上げます、創刊のご挨拶とさせていただきます。

東京警察病院 院長

東京警察病院の歩み

平成20年4月に移転し、新しくなった東京警察病院。1929年飯田橋での開業から80年の歴史があります。今回はその一部をご紹介します。



病院のご紹介

現在の東京警察病院は20の診療科目、ベッド数431、高度医療機器、災害対応機能を備え、地域に密着した総合病院として、質の高い医療を提供できるよう努めています。

災害拠点病院 / 地上9階、地下2階建ての新病院。免震構造や屋上ヘリポートを備え、災害拠点病院としての役割を担います。

2008 20年4月 新病院移転開院(中野区)



1階エントランス・ロビー / 吹き抜けで天井が高く、明るい光が差し込むエントランス。地域住民のための病院を意識し、オープンな雰囲気です。

総合案内 / 病院に入るとまず最初にある総合案内。常に係の者が常駐しています。

救急医療 / 夜間・休日の救急医療に力を入れており、2008年度の救急患者総数は13,375名、そのうち救急車による搬送患者は5,447名



(実績)でした。

2005 平成17年9月 新病院建設着工



1996 平成8年12月 ペルー日本大使公邸事件で医療チーム派遣



1995 平成7年3月 地下鉄サリン事件救護活動 オウム事件捜索活動協力



最新医療機器 / 地域医療機関の受け皿として、難易度の高い技術が必要な手術や治療をバックアップするために最新の高度医療機器を設置しています。

医療情報システム / 24時間体制で稼働している電子カルテによって、院内の各部門間で患者さま情報を正確かつ迅速に共有しています。これによって、処方や検査の重複を防止するとともに、医療事故防止にも役立っています。

個人で行う 新型インフルエンザ感染 予防対策

新型インフルエンザに100%感染しないようにする方法などはありません。しかし感染する確率をより低くすることや、他人に感染させないようにすることは可能です。そのためには(1)咳エチケット、(2)うがい、(3)手洗い、(4)マスクの4つが重要になります。しかしこれらの予防策も、正しい方法で実施しなければ、効果は半減してしまいます。それぞれの感染予防策について、正しい方法を覚えましょう。

①咳エチケット(咳やくしゃみが出る場合)

- ①咳やくしゃみをする時には、周囲の人からなるべく(できれば2mくらい)離れましょう。
- ②人のいる方向から顔をそらせ、ティッシュなどで鼻と口をおおみましょう。
- ③使い終わったティッシュはきちんとゴミ箱へ。
- ④手が汚れたかもしれません。手を洗いましょう。
→(3)正しい手洗い方法 参照
- ⑤咳やくしゃみが続くときにはマスクを着用しましょう。
→(4)正しいマスクの装着法 参照

②正しい“うがい”の方法

- ①水約20mlで強めに“ぐちゅぐちゅ”うがい
- ②水約20mlで“ガラガラ”うがいを15秒
- ③もう一度水約20mlで“ガラガラ”うがいを15秒
必ずもうがい薬を使う必要はありません。水で十分ですので、こまめに、頻繁に、うがいしましょう。

DATA うがいをよくする人は、しない人と比べてインフルエンザの感染率が約40%低いとの研究もあります。

③正しい手洗い方法

- ①手のひらと手のひらをこすり洗い
- ②手の甲をこすり洗い
- ③指の間をこすり洗い(写真)
- ④手のひらで指先と爪をすり洗い
- ⑤親指をねじり洗い
- ⑥手首をこすり洗い(写真)

DATA よく手洗いする人は、しない人と比べて肺炎の発生率が約50%減ったとの研究もあります。



④正しいマスクの装着法

- ①マスクの針金部を上にして装着
- ②鼻柱部から左右に、針金を押さえながら顔に密着させる
- ③上部を押さえながら下部を引っ張り、アゴをおおひ隠す
- ④左右の端を両手で押さえ、頬に密着させる。
(写真)

マスクで鼻と口をおおったつもりでも、目と鼻柱の間、頬の脇、アゴ部分などはすき間ができやすいものです。すき間があいたままでは防御できません。より優れた防御効果を得るために、正しいマスクの装着法をおぼえましょう。
○マスクは感染するのを防ぐため、感染させられるのを防ぐために使用します。
○効果は「感染するのを防ぐ」よりも「感染させられるのを防ぐ」方が高いです。
○咳がでたり、熱がある場合は、マスクを正しい方法で着用して医療機関を受診しましょう。

